

平成25年度実施 学校評価アンケート（教職員）の結果について

【目的】 以下により、本校が目指す文武両道の指導の充実を図る。

- 1 今年度の重点課題についての取り組みを検証する。
 - 2 学校教育全般について、成果と課題を明確にする。
- ※ 自己評価（学校評価ガイドラインより）
学校評価の最も基本となるもの。設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行う。

【分析】

- 1 今年度の重点課題について
 - (1) 学業全体の基盤である基本的生活習慣の定着
質問9「基本的な生活習慣の意義が学習指導・進路指導との関連で適切に指導されている」の評価は4.0と昨年に続いて比較的高く、質問16（学習指導）、質問23（進路指導）とともにほぼ達成されていると考えられる。また、個別の取り組みについても、質問10（遅刻指導）、質問11（服装指導）ともに評価が高く、共通理解にもとづき取り組みがなされていると考えられる。
 - (2) SSHの取り組みによる生徒の変容とその評価
質問13「SSHの取り組みは全校体制として行われている」の評価は、3.6と昨年より上向いているものの低い。一方で、質問12（SSH等の教育課程編成）の評価が昨年に増して高いことから、SSHを含めた本校における様々な取り組みに一定の理解があるものの、授業展開等への関わり方に依然として差があったものと考えられる。また、質問14（SSHによる生徒の学習意欲向上）や質問15（SSHによる生徒の資質能力の向上）で評価が依然分かれている。
SSHの取り組みは学年進行で行っており、平成26年度は全校生徒が対象となる。組織体制・指導体制等職員全員の関わり方の検討・改善とともに、客観的な指標の提示等工夫が必要である。
- 2 評価全般について
 - (1) 学校運営
質問1「学校教育目標は、生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえたものとなっている。」の評価が高い一方で、質問3（組織・業務の改善）の評価が低い。質問3でC（どちらかといえばそう思わない）・D（そう思わない）と回答した職員は、質問6（情報交換）、質問13（SSH全校体制）、質問17（授業改善）でも評価が低い傾向であった。このことから、学校教育目標について理解が得られているが、具体的な項目の中で、情報交換やSSH、学習指導を重点として組織・業務の運営に課題があると考えられる。
 - (2) 情報共有・情報交換
質問6（情報交換）で評価が低い。上記記述と重複するが、組織や業務の改善と効率的な学校運営のため、学年あるいは教科・分掌間の積極的な情報交換に努める必要があると考えられる。
 - (3) 人間形成・教育課程
質問7（人間形成）、質問8（教育課程）ともに昨年同様評価が高い。これについては、質問16（学習指導）、質問24（生徒の主体的な活動）、質問25（リーダーシップ・チームワーク）の評価が高いことと合わせて成果と言える。一方で、質問7でC（どちらかといえばそうは思わない）の回答が昨年と同じく14%あり、このことを踏まえた改善の手立てが必要である。
 - (4) 学習指導
質問16（授業・教科指導）、質問18（授業計画）に加えて質問17（授業改善）の評価が高くなった。校内研修の取り組みが共通理解されていると考えられる。
 - (5) 個に応じた指導
質問19（悩みやいじめ等への対応）、質問20（面談体制）いずれも昨年同様の評価が高かった。一方で、質問4（分掌等の連携）の評価が低く、迅速な連携等改善が必要と考えられる。
 - (6) 進路指導
質問21（方針の説明）、質問22（情報提供）とも高い評価であり、本校の取り組みに十分な理解があると言える。一方で、質問23（在り方生き方・進路指導）でC（どちらかといえばそうは思わない）の回答が14%あり、具体的な取り組みについて検討が必要と考えられる。
 - (7) 地域との連携
質問28（情報発信）は昨年に比べて評価が高くなったものの、質問29（地域の声を聞く機会）、質問30（地域の活動や行事への参加）の評価が依然として低い。公開授業や学校行事、部活動等での取り組みの推進が必要と考えられる。